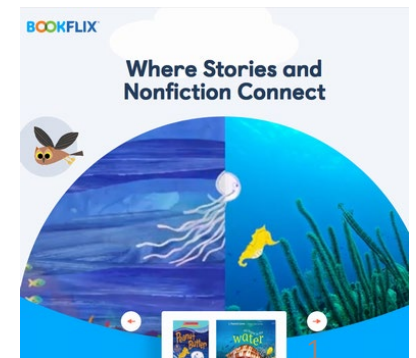
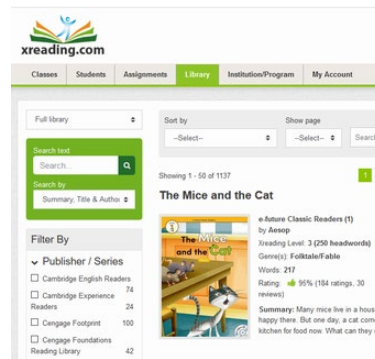
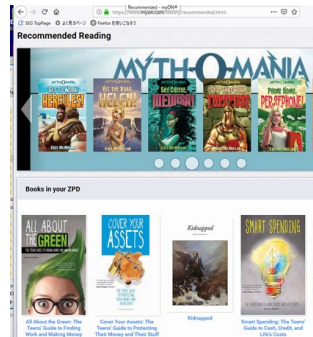
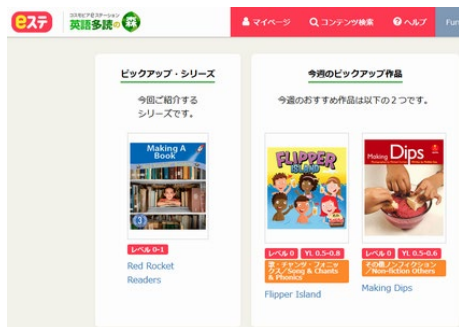


# 多読学会年会 WORKSHOP

## 多読オンラインシステムの の利点と欠点、改善の方向性

2020.08.22 (v.1.00)

モデレータ 古川昭夫 (SEG)



# モデレータの自己紹介

古川昭夫 (株)SEG代表取締役

SEG多読教室を主宰(中1～高3約1600名、144クラス)

自らも、中1～高3まで、多読指導。

SEGには、多読ライブラリ付多読専用教室が29あり、  
55万冊の蔵書をもつ。

中1～高2は、外国人講師の会話・作文指導と  
多読のペア授業。(80分×2 高2は90分×2)

高2・3は、大学受験演習と多読のペア授業を実施。

# 2020年度1学期の英語多読授業

対面授業の休止にともない、下記で多読指導を継続

- (1) eSTATION (全学年)
- (2) Xreading (全学年)
- (3) myON (中1～高2)
- (4) Oxford Learners' Bookshelf (任意)
- (5) Oxford Reading Club (中1・中2のみ)
- (6) レターパックによる本の郵送貸出・返却 (中2以上)
- (7) 生徒とのメール、Zoom Meeting (全学年)

# SEG多読授業のリモート対応

- (a) 2週間の休講後、遠隔授業・遠隔多読で再開
- (b) 中1は、多読は無理なので、ORTの解説ビデオを作成し会員限定で放映(1話2-4回放送)
- (c) 個別選書指導はシステムに対話機能がなく困難  
課題図書・掲示板・Zoom Meeting・メールで代用
- (d) 会話パートは、Zoomで双方向授業(生徒に好評)
- (e) 一斉読みは、一斉読み解説ビデオの放映
- (f) 英作文は、録画で解答放映、メールで添削

# 各システムの紹介

(1) eSTATION(多読の森) コスモピア

(2) myON ルネッサンスラーニング

(3) Xreading

(4) Oxford Reading Club オックスフォード大学出版局

(5) BookFlix, TrueFlix, Literacy Pro Library スカラスティック

についての詳しい情報は

[http://jera-tadoku.jp/ER\\_ONLINE/index.html](http://jera-tadoku.jp/ER_ONLINE/index.html)

にあります。(アンケート結果の原文・蔵書リストも公開)

## (1) eSTATION (多読の森)

タイトル数 975 50校、5000人が利用  
費用: 一人 半年 1200円 1年 2000円 最小人数 5

絵本が充実していて、多読初期に向いている  
日本語ベースのシステムなので、初心者に使しやすい  
「読み聞き放題」契約をすると、リスニング素材も豊富

大人向けGRがラダーのみで、中上位層向けの本が少ない  
CPT, MMR, CER が追加されるとバランスがよくなる

## (2) myON (Renaissance Learning)

タイトル数 6100 62000校、1800万人が利用

費用: 一人 1年 2000円(年間契約のみ) 最小人数 100

ノンフィクションが充実 古典も充実(難度は高め)

スターアセスメント契約で、英語力判定試験も利用可能。

大人数が利用するので、システムの安定性は抜群

ネイティブ用なので、英語仕様で、中上級者向き

GRも利用できるようになると最強のシステムに(要望中)

### (3) Xrdg (Xreading)

タイトル数 1200 350校、4万人が利用

費用: 一人 半年1500円 1年 2500円 最小人数 1

MMR, CER, CPT が全レベルを揃っており、初級から上級まで幅広く対応

日本の学校向けに特化しているので、1ヶ月単位の利用が可能など、柔軟な利用に対応 また、改善にも積極的

YLOの易しいGR,LRが拡充されると、バランスがよくなり、初心者にも向く理想のシステムに(前向きに対応中)



## (4) **ORC** (Oxford Reading Club)

タイトル数 900      利用者数非公開

費用: 一人 半年5400円    1年 10800円      最小チケット 60

ORT、OCT、ODM、OBW、ORD、ORIなどが全レベル揃っており、初心者から上級まで幅広く対応

初心者から上級者まできれいに対応している唯一のシステム。ただし、利用者からの改善意見には消極的

ユーザー管理に難があり、少人数向け  
(ユーザーIDを学校側で指定できない)

## (5) BookFlix, TrueFlix, Literacy Pro Library

タイトル数・国内利用者数(海外除く)

BF 280冊(2000人) TF 205冊(350人) LP 1230冊(1万人)

費用: BF/TF 年1000円 LPL 年2200円 (年契約のみ)

最小人数 20

BookFlix: 絵本に特化

TrueFlix: ノンフィクションに特化

Literacy Pro Library : 米国の小学校の課題図書中心

BookFlix, TrueFlix は格安なので、対象が合っていればお勧め

# 各システムのまとめ

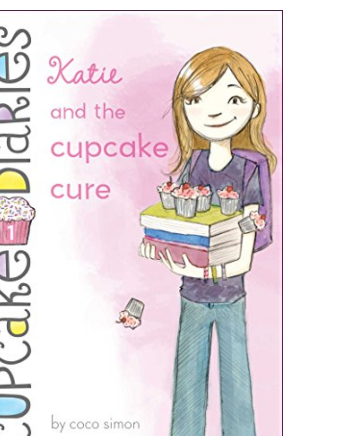
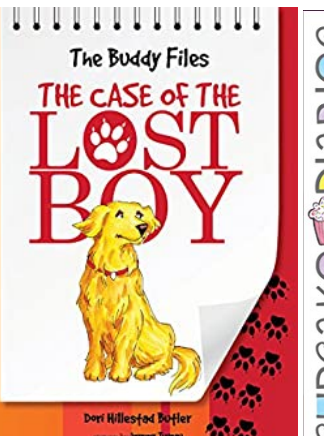
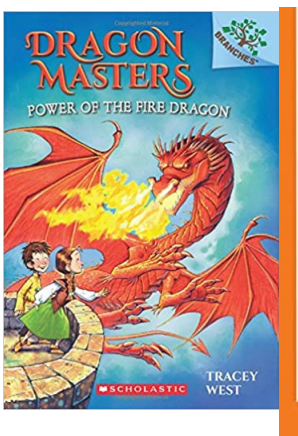
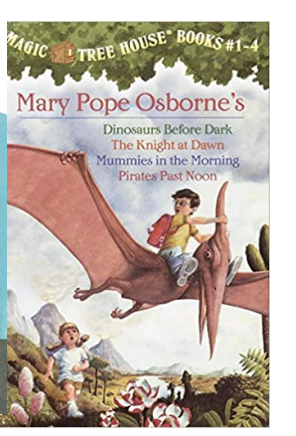
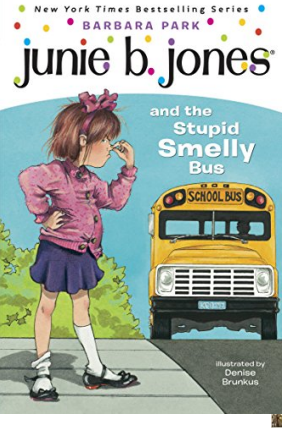
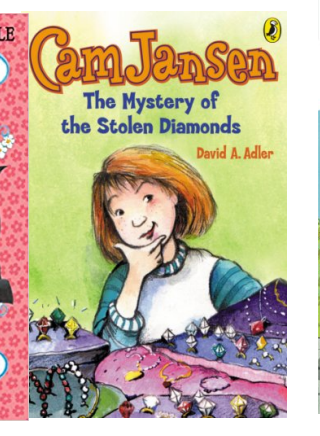
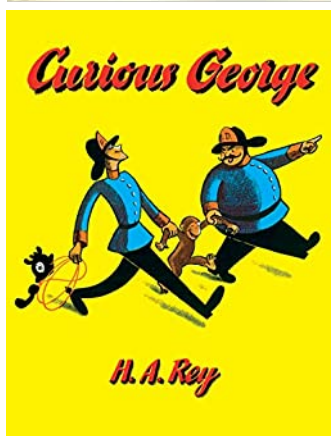
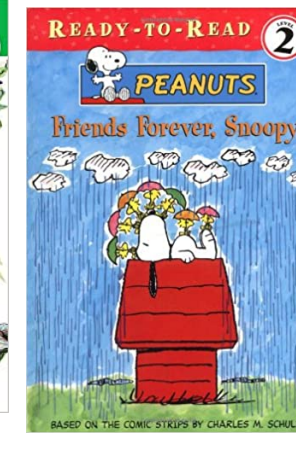
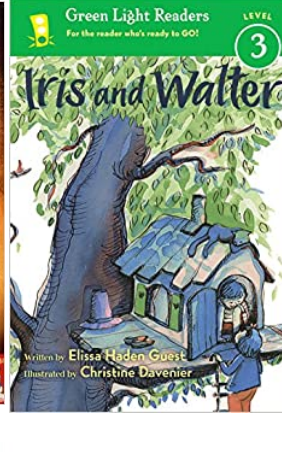
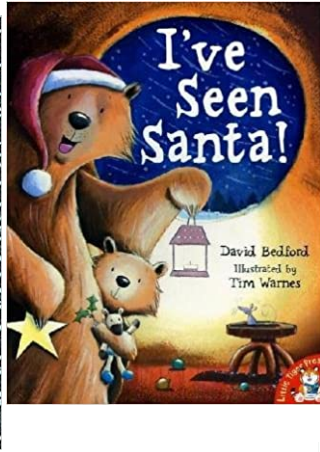
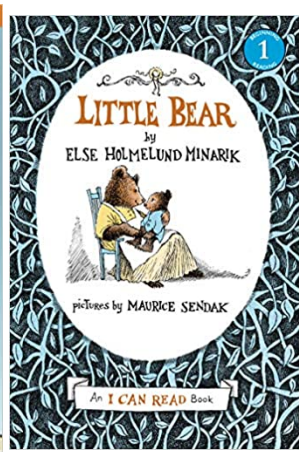
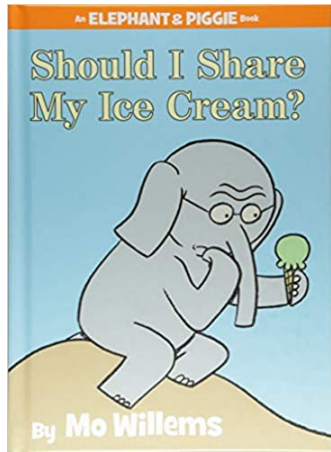
	利用者数	蔵書	管理	安定	年間費用
eSTA	5000	3	4	4	2000
myON	1800万	4+	4	5	2100
Xrdg	40000	4	4	4	2500
ORC	非公表	5	2	3	10800
LPL	10000	3	4	5	2200

大人数による割引が可能なところもあるので、費用は、運営会社にお問い合わせ下さい



# 現行オンラインシステムの欠点

(1) 下記のような、楽しい児童書がない



# 現行オンラインシステムの欠点

(2) 生徒と1対1でコミュニケーションをとれる  
ツールが未整備

クラスごとに生徒の読書記録をみる機能はあるが、それを見ながら、ダイレクトに生徒と対話できる機能がない。

# 現行オンラインシステムの欠点

## (3) システムの管理が意外に大変

学校では大きな問題にならないが、生徒の入会・クラス変更がある大規模塾では、クラスの情報をメンテナンスするのが大変。

複数のシステムを、同時に管理するのは大変  
一部のシステムは、大人数には明らかに向いていない  
(ユーザーIDは、学校側で指定できないと不便)



# 多読オンラインシステムの長所

- (1) 本を複数冊購入しなくても良い
- (2) 読書の記録が自動的にできる
- (3) 理解度チェックテストが利用できる  
(しかし、理解度テストは両刃の刃)

オンラインシステムの長所を活かし、  
欠点を補う多読指導



# 多読オンラインシステムへの要望

- (0) **共通** 生徒と教師の直接ML・チャット機能
- (1) **eSTA** YL1-4程度のGRの充実(CPT,CER,MMR)
- (2) **myON** GR絵本、GRの充実(MM,Express,CER,MMR)
- (3) **Xreading** YL0-1のLR,GRの充実(前向きに対応中)
- (4) **ORC** 管理システムの改善、価格の見直し